

## 第4章 重点事業実績・評価

資料 2 - 1

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	31年度目標	27年度実績	評価	検証・分析
基 2-1 No.4	教育・保育施設同士の連携強化と積極的交流	子育て推進課	一貫した就学前教育・保育が行えるように、教育・保育施設同士の連携や積極的な交流を図る。	・地域における就学前施設間の交流会開催	充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園・保育所間の交流：70回</li> <li>・私立保育園との交流：10回</li> <li>・小学校区内の公立幼稚園・保育所(園)との合同ミニ運動会を実施：1回</li> </ul>	B	新制度開始に伴い、今まで以上に就学前施設間の交流を図り、職員の意識も高くなっている。今後は日頃の業務を通じて、私立園との更なる交流・連携が図れるように努める。
		学校教育課						地域における公立の幼稚園と保育所の交流は進んできた。今後、私立幼稚園、保育園との交流を進めていく必要がある。
基 2-1 No.5	幼稚園教諭、保育士の人材育成と資質の向上	子育て推進課	幼稚園教諭、保育士、保育教諭等としての資質や指導力の向上のため、研修、実習等を通じた人材育成の充実を図る。	・就学前施設における合同研修会の参加者数	407人	【保育所開催分】 ・全体研修会：1回 ・統合保育研修会：2回 ・夏期研修：11回 延べ362人が参加	A	公立保育所を中心として、多くの保育士が研修会に参加した。日々の保育の実践や講師を招いて実施する研修会等を継続して実施することで、保育の質の向上につながるため、今後も引き続き取組を進める。
		学校教育課						【幼稚園開催分】 ・就学前教育研修会：1回 ・幼稚園教育研修会：5回 ・教育委員会指定研究会：8回 延べ322人が参加
基 3-1 No.1	地域における子育て支援活動	学校教育課	あしや市民活動センターや幼稚園、保育所等の公共施設を利用し、子育ての情報交換・団体間交流・ネットワーク化を図り、地域における子育て支援活動の充実を図る。	・公立の全幼稚園での未就園児とその保護者に対する施設開放実施回数	304回	公立幼稚園で、未就園児交流会117回、3歳児親子ひろば36回、園庭開放154回開催した。計307回の施設開放	A	幼稚園の地域への施設開放数は増加している。今後、より充実させるように3歳児親子ひろばを各幼稚園で週1回開催し、情報提供が広くできるよう取り組む。

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	31年度 目標	27年度実績	評価	検証・分析
基 3-1 No.3	公共施設の有効活用	子育て推進課 (新制度推進)	公的施設を子どもの居場所として有効活用できるようにする。	・子どもが利用できる公共施設の周知	充実	広報臨時号(4月15日号)及び、年間2回発行している子育て情報誌「はぐくみ」において、子どもの居場所の周知を実施	C	紙媒体での周知は、最新情報の提供という面で課題がある。今後はこれまでの取組に加え、保護者に最新の情報を適宜発信できるよう、ホームページ等、紙媒体以外の充実に努める。
		公園緑地課		・子育て世帯又は子ども自身の公園ニーズを把握し、その結果を踏まえた公園整備の実施	充実	樹木の繁茂による公園内の死角をなくすこと及び遊具を維持管理することについて、職員による点検や利用者から寄せられる要望に基づく適正な維持管理を実施した。	B	今後、公園を子どもにとってより居心地の良い場所とするため、寄せられる要望だけでなく、ニーズ把握のためのアンケート調査等を実施し、公園整備に反映する。
基 3-2 No.2	犯罪等、子どもを取り巻く様々な危険性についての教育、啓発	防災安全課	家庭、学校、地域及び関係機関が連携を図り、子どもや保護者に対して、様々な犯罪の危険性についての教育、啓発、情報提供等を行う。	・子ども向けの防犯啓発リーフレット発行(新規事業) ・警察との連携による防犯講習会の実施(新規事業)	実施	兵庫県警内にて行われた、防犯講習内容を基に、地域の出前講座にて子供が受ける危険な犯罪から身を守る方法を啓発した。  出前講座：1件(6月末)	C	指標にある内容については、28年度以降所管する『建設総務課』へ引き継ぎ、そちらで協議を進めている。その他、地域住民と協力し、小学校通学路を主として、防犯カメラの設置による犯罪抑制、安全・安心な見守りを進めることができた。
基 3-2 No.4	交通安全の意識向上	建設総務課	子どもの交通安全を確保するため、不法駐輪及び不法駐車をなくし、自転車マナーを守るよう啓発活動を継続する。また「交通安全教室」や「出前講座」等の実施により、交通安全に対する意識向上を図る。	・市内で起こる子どもの交通事故件数	14件	子どもの交通事故件数 15件 (平成26年度実績：25件)  交通事故を減らす取組 交通安全教室の開催(幼稚園18回、保育所14回、小学校14回)	B	子どもの事故件数は減少しており、一定の効果がみられる。今後も継続し啓発を行うことが重要である。